

0:00
死にたくないよ寝てなんかそんな言葉を
0:03
言ったのかな違いますけどって思って
0:06
ちょっとね
0:08
人の心あるんやったら
0:11
謝るはいどうもDAの長崎です本日も
0:13
どうぞよろしく申し上げます
0:14
よろしく申し上げますそうですね
0:18
娘様を生産が事故でなくされたイエス様ご
0:22
夫妻にですねお越しただいておりまして
0:24
実際にですね事故に
0:27
遭われてその後保険会社にどのような対応
0:29
されたのかでまたその経過の中で
0:33
理不尽なことがあったのかこの辺りをです
0:35
ねお話をお聞きしていきたいと思えます
0:37
はどうぞよろしく申し上げますお願いし
0:40
ます
0:42
はいでまずですねご主人様の方に
0:45
過去の状況の方からですねお聞かせ
0:48
いただけますでしょうかもう5年前には
0:50
なるんですけども2018年2月1日以降
0:54
の聴覚支援学校の学校前の交差点の
0:59
信号
1:00
待ちをしていたところ道路の
1:02
舗装工事かなんかやってたその重機が
1:05
暴走して
1:06
娘が5人が引かれ私の娘だけが
1:11

亡くなったという事故です
1:13
妻から会社の
1:15
携帯の方に電話をかかってきて奥様から
1:17
電話がかかってきていますというので電話
1:20
を取ってその時に
1:23
妻がもう泣き叫びながらとにかくどこどこ
1:25
の病院へ行ってくれあゆかが死にそうと
1:31
[音楽]
1:34
その言葉聞いた時が本当に信じられなかつ
1:40
たんですけどもとにかく私は
1:43
夢中でその病院へ向かいました私は一番先
1:46
にその病院に到着し手術
1:49
室のところへ入った途端下着1枚の姿で
1:53
医療機能
1:55
ケーキにつながれてる姿で
1:58
[音楽]
2:04
そういう姿を見てみました
2:08
[音楽]
2:09
女の子ですよ
2:12
下着1枚で色んな本当にもう
2:16
[音楽]
2:17
すごい
2:19
[音楽]
2:21
何とも言えない
2:24
姿でした
2:28
で別室に呼ばれて
2:30
懂れてから1時間心臓マッサージをして

2:33
まずけども心臓が動く気配がないという
2:36
ことで死亡確認させて欲しいということ
2:39
言われましたがちょっと待ってくれと妻が
2:41
今こっちに向かっているんで
2:43
妻が到着するまで待ってくれと言って時間
2:46
はどれくらい経過したのか分かりませんが
2:49
妻も到着し
2:50
息子と二人で手術室に入ってきました
2:54
妻も私と同じ思いでこの信じられない光景
2:57
でおすすめの名前大きな声で叫びました
3:00
しかし
3:02
娘は
3:03
返事することもなくただただ目には
3:05
うっすらと血と涙がにじんだような感じで
3:08
何か
3:09
怖かったんだろうなパパは待つてなんか
3:12
死にたくないようにそんな言葉を言ってた
3:16
のかなそんな表情でした
3:19
医者から私呼ばれましてもうこれ以上
3:22
心臓マッサージを続けるとご遺体に
3:28
傷がつくので
3:29
脂肪確認させて欲しいということと言われ
3:31
霜確認をしてもらいました私の娘は
3:34
生まれつき聴覚障害を持って生まれました
3:37
なので行くの聴覚支援学校へ通ってたのは
3:41
そういう
3:42
障害を持っていたのでその学校に通ってまし
3:44

た
3:47
それで事件が当時は何で10技が暴走した
3:51
のかっていうのは全く分かりませんでした
3:53
ある時受刑者が2ヶ月にわたる鑑定留置を
3:56
受けますという連絡を受け2か月後に
3:59
返還の持病を持っているという話を聞き
4:02
ましたで私どもも夫婦はてんかんをの病気
4:05
を
4:06
憎んでるわけではなくですね数をこの
4:09
日本全国でもたくさんそういう
4:12
転換のお持ちの方もあってそういう中で
4:14
社会生活を送っている方もたくさんいます
4:16
ただ問題なのはその何時転換薬を飲んでも
4:19
その転換の発想を止められないという
4:23
病気なんですね何時転換ってというのは車を
4:25
運転してはいけないんですねなので車さえ
4:28
運転しなければ普通の生活を送れるんです
4:31
ねただその受刑者は
4:33
過去にも何回も事故を起こして自分のその
4:37
病気を受け入れてないって言い方がいい
4:39
のかな何度も何度も車を運転して事故を
4:42
起こしてそのたびに嘘をついてごまかして
4:45
運転を続けてきてそれが今回の私どもの娘
4:49
の命を奪った大きな事故です
4:53
完全留置の経過がしまして相手側は結局は
4:56
変化を認めないアクセルとブレーキを踏み
4:58
間違えたという主張です事故から発生

5:01
から1年半経って刑事裁判が行われ受刑者
5:05
の方についてはですね
5:07
結局法廷ではアクセルのブレーキが踏み
5:09
間違いでしたしかしそこには同じ作業して
5:13
いた同僚の人が本来は受刑者の方について
5:17
証言を述べる場所なんですけどもそこは
5:19
私どものために
5:22
証言してくれましたあれは間違いなく転換
5:24
だなぜそんなこと言えるのかと言うと私の
5:28
父親も
5:29
返還で発作を起こしている姿を見てきた
5:32
からまさしく受刑者が発作している姿は
5:35
一緒やとなのであれは
5:37
転換ですと証言してもらいましたあと警察
5:40
の方も現場検証した結果アクセルと
5:43
ブレーキの踏み間違いは絶対にそれはない
5:46
とまあそういう
5:47
裁判が
5:48
判決に回せて3日間行われました受刑者が
5:52
突然というようななんかそういう
5:55
叫び声がしたんですねそしたらまさしく
5:58
その場で転換発作を起こしたんですもう
6:01
紛れなくアクセルとブレーキ踏み間違え
6:03
たっていうのは
6:04
嘘でありまさしくもその転換っていう
6:08
証拠をその場で
6:10
裁判官やそういう傍聴席に乗る記者とか
6:14

傍聴人とか前でその姿を見せたわけですよ
6:17
ねその場はずっと一旦休憩を挟んでもう
6:20
なんか本当に
6:22
嘘だらけ
6:23
茶番劇みたいな裁判でした
6:25
結局は最後は
6:26
危険運転
6:27
致死傷罪休憩10年に対して7年と運転
6:31
免許の虚偽の申請による
6:33
更新をした罪で7年ちょいという形で
6:38
判決が下されたという結果でした会社側
6:41
は
6:42
閣議総研で受刑者が転換だってというのは
6:44
知らなかった
6:45
検察もいろんな調査をしたんですけども
6:49
結局はもう一步の
6:51
証拠がつかめなくてですねもう県議不十分
6:53
ということでそのなりました事件の概要は
6:57
そのことですありがとうございます
7:01
どうでしょうかご主人様の勉さんが今回の
7:04
事件を通してぜひ発信したいというか皆
7:08
さんにお伝えしたいというようなことが
7:09
あれば教えていただきたいなと思うんです
7:12
が今は運転免許の
7:15
更新っていうのは言ったら初期の申請でも
7:18
更新はできるとそうですねなのでやっぱり
7:21
そこは

7:23
医者と公安委員会が連携してやっぱりその
7:26
運転してはいけない人間にはやっぱり
7:29
更新をさせてはいけないその
7:32
壁を
7:33
設けるべきかなと思います今の時代個人
7:36
情報っていう問題で難しい
7:39
扱いだとは思うんですけどもやっぱりそう
7:41
いう悲惨な事故を起こらないためにもダメ
7:44
なものダメ」っていうのをやっぱり一つ
7:47
の壁っていうものを法律
7:50
違法っていうのかを変えて今は任意の報告
7:54
という形になってますけどもそれを
7:57
医者から公安委員会へ
7:59
義務にすることによって少しでも
8:02
悲惨な事故が減るのかなと私は思います今
8:05
の免許の更新制度ちょっともう少し改善の
8:08
余地があるんじゃないかということではい
8:11
ありがとうございました
8:14
続きましてですね
8:16
奥様の方にも今回の事故その後の裁判を
8:20
通じてですね感じられたことまたちょっと
8:24
こういうことを皆さんに知ってほしいと
8:25
いうことがもしあれば教えていただきたい
8:27
なと思うんですが
8:29
娘の母親の立場としてねどうしても許せ
8:32
ない一文がありましてね映画の書類に
8:36
聴覚障害者は学力知力ともに劣るためって
8:40

いう一文があったんですよ
8:52
その一番読んだ時に家そこ違いますけどっ
8:58
で思って
8:59
やっぱり私はもう生まれてからもずーっと
9:03
もうあるかとともに生きてきて
9:07
絢香の
9:07
努力はもう一番誰よりも一番近くでも見て
9:11
きてるんですよ一番最初に生まれた病院
9:14
のところで言われたことがこの聴力レベル
9:17
ではもう将来コミュニケーションはもう
9:20
手話のみですってはっきり
9:22
断定されたんですよ一番最初の一番最初の
9:25
病院でねその時にもうどうしようと思って
9:28
もう不安で不安で仕方がなかったんです
9:31
けれども大阪に戻って大きな病院でまた見
9:36
ていただいた時にその先生には
9:39
難聴が早い段階で分かったことは
9:42
良かったですねって言われてもう早い段階
9:45
で補聴器をつけることによって外部の音を
9:49
取り込むことによって言葉の獲得ができる
9:51
ようになる可能性がありますってということ
9:54
をおっしゃられてすごくこうあそうなんだ
9:57
可能性あるんだまだこの聴力でもと思って
10:00
じゃあどうしたらいいですかって言って
10:02
その先生に聞いたなら地域にそういう早期
10:05
教室っていうのがありますのでそちらに
10:08
通われてみてはどうですかって言われたの

10:10

でもう0歳の半年6ヶ月からですね生後6

10:15

ヶ月からその教室は行け

10:17

るっていうことだったので親子でそう

10:19

いう早期教室に通う生活が始まりました

10:23

やっぱりもう家から遠い場所とかもあった

10:26

んですけどもねいやもう全てはもうこの

10:28

子のためと思ってどうにかとにかく喋れる

10:31

ようになってほしいっていうもうその

10:34

気持ち一つで

10:35

もう親子で通って

10:39

頑張ってきました行くのの

10:41

聴覚

10:42

支援学校の用地部3年間一般の地域のこと

10:47

で言ったら

10:48

甲子園ですねその

10:50

幼稚部3年間通って

10:52

努力の結果言葉

10:54

獲得することができたんですよでもうそれ

10:58

ですごく嬉しくてでも商学部からはもう

11:02

とにかくお勉強もう言葉の獲得はできたの

11:05

でこれからはもう小学部はもうお勉強

11:07

とにかく

11:09

頑張してほしいなと思ってもう

11:12

幼稚部の3年生の時から公文ですね公文に

11:15

通わせ通信教育も

11:18

習わせでプラス小学校の

11:21

宿題

11:22

迷った3つですねそれをちょっと大変です
11:25
けども
11:26
頑張っしてほしいなと思ったんでやらせて
11:28
またでもうもともとやっぱり真面目な
11:32
性格の娘なんでねそれ3つともちゃんと
11:36
頑張っ
11:37
宿題こなしてましたもう宿題忘れるという
11:39
ことはありませんでしたお勉強を嫌やって
11:42
言ったことも1回もありませんやっぱり
11:44
もうとにかくもう重い一つですねもう
11:47
頑張っしてほしいやっぱり元々生まれた時から
11:50
健聴者に比べてハンデがあったわけなので
11:53
健聴者以上に
11:54
努力しないといけないということはもう
11:56
わかってましたのでしんどいだろうなと
11:59
思いながらも
12:00
頑張らせてきちっと学校のお勉強もその
12:03
おかげでついていけてましたのでねもう
12:05
普通にもう地域の子たちが習う教科書で
12:08
学校でもお勉強できてましたのでねなので
12:11
もう相手方からのその一文がいえいえいえ
12:16
いやもううちの
12:18
娘そんな言ってること当てはまりません

From:
<https://WVIC.LINK/wv/> - 被害者の知識集成 - Wiki for Victim - 100人で一歩ずつ行きたい

Permanent link:
https://WVIC.LINK/wv/doku.php?id=%E4%BA%A4%E9%80%9A%E4%BA%8B%E6%95%85:%E5%BE%8C%E7%B7%A8_log

Last update: 2023/03/01 07:59

